

研究テーマ ● 具象絵画のしくみ

教育学部・美術教育・絵画

教授 桶田 洋明

<http://okeda.html.xdomain.jp/>

研究の背景および目的

具象絵画は美術分野において古くから存在します。また近年の現代アートにおいても、具象的表現を用いた絵画を頻繁に目にすることができます。

しかし、学校教育を筆頭に、具象絵画を表現するための「描き方」についてはあまり教えていないのが現状です。具象絵画の「描き方」を理論的に学ぶことで、絵画制作に役立つだけでなく、絵画を鑑賞する際の一助となることを目指します。

■ おもな研究内容



『青い幻影』F30号,2018年

造形要素の分析

- ・ 形体
- ・ 構図
- ・ 色彩
- ・ 描画法
- ・ テーマ

研究している色材

- ・ 油彩
- ・ テンペラ
- ・ アクリル
- ・ 水彩
- ・ フレスコ

描画法の研究

- ・ 各描画材の特質
- ・ 空間表現と技法
- ・ 効果的な色彩法

絵画指導法の研究

- ・ 効果的な空間表現
- ・ クロッキーによる短時間指導法



『輪廻-夏-』S100号,2013年

絵画制作の進化

絵画鑑賞の充実

絵画教育の充実

期待される効果・応用分野

絵画制作者・教育者にとっては、具象絵画の「描き方」を理論的に学び、表現技法や絵画の造形要素を理解することで劇的な進展が期待できます。

特に油彩・アクリル・テンペラ・水彩・フレスコ等における描画材の特徴とその技法を知ることは、制作者はもちろん、鑑賞の立場からも、古代から現代に至る絵画技法と社会情勢との関係を深く理解することにつながり、今後の作品鑑賞に大きく役立つことでしょう。

■ 共同研究・特許などアピールポイント

●油彩・テンペラ・アクリル絵具を使った描画法について論文や講演で発表し、また自身の作品を個展などで発表しています。

●街並みを絵画で表現するなど、地方自治体との共同研究を行っています。

🗨️ コーディネーターから一言

具象絵画の「描き方」を理論的に学び、表現技法と造形要素を知ることによって、絵画制作は劇的に進化します。鑑賞する際にも、より深い理解と発見ができます。学校や趣味講座等での講演や指導、自治体との連携に対応します。

研究分野	絵画制作学、絵画技法、絵画教育
キーワード	技法、絵画、油彩、アクリル、テンペラ